

<設問>を問い合わせてみよう！： 小学校の英語教科書を中心に

How to Ask Questions: An Analysis of Textbooks for Elementary English Teaching

磯部千尋, 井上竜之介, 江寄ひかり, 岡田実恋, 小高萌瑛, 坂寄尚也,
土屋隆貴, 東根作光輝, 二部畔, 浜野日帆里, 引馬祐樹, 皆木駿太朗

指導教員 高橋和子

明星大学 教育学部 教育学科 高橋和子ゼミナール

キーワード：設問, 小学校英語教育, 検定教科書, 物語, QAR

1. 背景

小学校では、2020年度から新しい学習指導要領に従って英語教育が始まった。小学校3・4年生では領域として「外国語活動」が、5・6年生では教科として「外国語」(英語)が必修になった。教科化にともなって、5・6年生の「外国語」授業では、検定教科書が使用されている。

2. 小学校で使用されている検定教科書

表1は、現在、小学校5・6年生で使用されている検定教科書である。7つの出版社から2学年分ずつ、計14冊の教科書が出版されている。表1では、発行者名・教科書名(この発表で用いる略称)・著作者名を、教科書の記号番号順に記載する。

表1 小学校「外国語」検定教科書

発行者名・教科書名(略称)・著作者
東京書籍・ <i>New Horizon Elementary English Course 5, 6</i> (NH5, NH6)・アレン玉井光江他
開隆堂・ <i>Junior Sunshine 5, 6</i> (JS5, JS6)・萬谷隆一他
学校図書・ <i>Junior Total English 1, 2</i> (JT1, JT2)・吉田研作他
三省堂・ <i>Crown Jr. 5, 6</i> (CJ5, CJ6) ・酒井英樹他
教育出版・ <i>One World Smiles 5, 6</i> (OW5, OW6)・金森強・本田敏幸他

光村図書・*Here We Go! 5, 6*(HW5, HW6)・

小泉仁他

啓林館・*Blue Sky Elementary 5, 6*(BS5, BS6)・景浦攻他

注 文部科学省(2020)をもとに発表者が作成。
東京書籍 *Picture Dictionary*は調査対象から外す

3. 物語・絵本を教材にするメリット

表1で示した検定教科書には、会話教材が多く用いられている。現在、小学校英語教育の目標は、子どもたちのコミュニケーション能力育成である。この能力を子どもたちにとって身近な場面(家庭・学校・地域)や、ことばの働き(あいさつ・気持ちや考えを伝える・相手の行動を促すなど)を通して育成しようとしている(以上は文部科学省, 2017参照)。その結果、教室で言語活動が行いやすい会話教材が多く用いられていると考えられる。

一方、衣笠(2017)によると、教材としての物語・絵本には、以下のようなメリットがある。

- ・「絵本の読み聞かせは、児童がある程度まとまりのある英語を聞き、英語の音声的特徴や異文化に触れること」ができる
- ・「英語特有の音・リズム・抑揚などに触れるこ
- と」ができる。
- ・「未知の表現や語彙の意味を類推・推測する力や、大意をつかむ力を育む」
- ・「異文化への興味・関心が高まる」

- ・「異なる世界観や価値観に触れ、無意識のレベルで異文化の真相に触れることができる」
 - ・「音と文字とのつながりに興味・関心が高まる」
 - ・「こころの成長を助ける」
- (衣笠, 2017, pp. 97-98 参照)

4. QAR で<設問>を問い合わせ直す

本発表では、3. で示したメリットを最大限に生かすため、検定教科書の物語・絵本に記載されている問い合わせに注目する。この問い合わせを見直すために問い合わせの型の 1 つである QAR (Question answer relationships)を使用する。これまでに色々な質問の型が英語教育では用いられてきたが、QARは、大別して 2 つの型 (In the Book と In My Head) に質問を分け、2 つの型がさらに 2 つに分類される。

- ・In the Book に当てはまる問い合わせ：問い合わせに対する答えが、教材にはっきり示されているタイプの問い合わせ

→Right There : 問いに対する答えが、教材の 1 か所から見つけられるタイプの問い合わせ

→Think & Search : 問いに答えるためには、教材の複数箇所から情報を得る必要があるタイプの問い合わせ

- ・In My Head に当てはまる問い合わせ：問い合わせに対する答えが、教材にはっきりと示されていないタイプの問い合わせ

→On My Own : 問いに答えるためには、自分の考え方や経験を生かす必要があるタイプの問い合わせ

→Author & Me に当てはまる問い合わせ：問い合わせるために、作者の考え方 (教材に示されていること) と自分の考え方や経験を結び付けたり関連付けたりした上で、答える必要があるタイプの問い合わせ

(以上は、Raphael 他, 2006 参照)

現在、QAR の型を用いて、教科書に掲載されている物語・絵本に付けられた問い合わせを分類している。問い合わせの型を分類する際は、各自が意見を述べ合っているが、全員の意見が一致することは難しい。短

い問い合わせ 1 つに対しても、色々な解釈があるので改めて実感している。図 1 は、問い合わせの型を分類中の表である。

物語のタイトル	教科書で示された質問	みんなが考えた質問の型
"A Bundle of Sticks"	おじいさんは森から帰ってきた。 子供たちに何と言ったでしょうか。	OW
"The Gingerbread Man"	音声を聞いて、物語を楽しみましょう。 この後の、物語はどうなるでしょうか。	TS
"Junishi no Monogatari"	物語をもう一度聞いて、あ〜f.の絵を順番にならべよう。	TS
"The Very Big Turnip"	絵を見ながら物語を聞いて、内容を考えましょう。	AM
"Shaggy's Story"	① "What is the dog's name?" ② Shaggy について考えましょう。 "What do you like?"	① RT ② RT
"The Letter"	① 絵を見ながら英語を聞いて、物語の流れを追ってみよう。 ② かえるくんのお手紙を読んでみよう。 大切な人に手紙を書いてみよう。	① TS ② OW

図 1 : 問いを分類中の様子

発表の際には、質問の型の分類例を実際に示すとともに、設問を問い合わせ直す試みが、私たちが教員になった際に、4 つの型をどのように組み合わせて指導を行うことが効果的か考えてきたい。

参考文献

衣笠知子 (2017) 「教材研究①—児童が英語に楽しく触れ、慣れ親しむ活動」 横口忠彦・加賀田哲也・泉恵美子・衣笠知子編『新編小学校英語教育法入門』: pp. 84-101.

文部科学省 (2017)『小学校学習指導要領(平成 29 年告示) 解説外国語活動・外国語編』

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf

2021 年 10 月 12 日入手。

Raphael, T. E., Highfield, K., & Au, K. H. (2006). *QAR now: Question answer relationships.* Scholastic.